

八丈島 水産だより



7月号
2025年

6月19日には
好天の中
おがさわら丸
が寄港



たんぼまつりでの田植えの様子

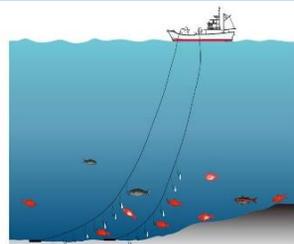
湿度はまだ少し高く感じますが、今年の梅雨は雨が少なく、夏のような日差しの日もあります。

6月8日には和泉親水公園で「第21回たんぼまつり」が行われました。当初予定日だった前日があいにくの天気のため延期での実施となりましたが、この日は晴天となり、こどもから大人まで多くの島民が一生懸命に苗を植えました。八丈島は伊豆諸島で唯一稲作をしていた歴史があり、この文化の保存・継承のため、田植え体験が行われています。この日に植えた苗は秋の「たんぼまつり」で収穫される予定です。

■ 最近の漁模様 ～メダイ・キンメダイ、水揚げ好調！～

6月は海況が良い日も多く、水揚げが多い日は漁港が忙しく、活気にあふれていました。中でも特に、メダイ、キンメダイの水揚げが好調でした。メダイ、キンメダイは底魚一本釣りという漁法で漁獲され、島寿司のネタなどによく使用されるとてもおいしい魚です。

今後も海況が安定し、たくさん水揚げがあることを期待しています。



底魚一本釣り漁法



キンメダイ



メダイ

■ 黒潮大蛇行の状況



先月号で「黒潮大蛇行が終息する兆し」があることを取り上げましたが、6月末時点で黒潮は左の「八丈海洋ニュース」のような流路になっています。

JAMSTECによると、黒潮大蛇行が始まって以来、短期間を除き、八丈島の潮位は高い状態が続いてきたようです。黒潮大蛇行が終わっていく徴候として、長期間にわたりこの潮位が今後下がってくるかが注目です。(出典：JAMSTEC 黒潮親潮ウォッチ <https://www.jamstec.go.jp/aplinfo/kowatch/>)

←八丈海洋ニュース（令和7年6月30日 島しょ農林水産総合センター八丈事業所発行）

